

2016（平成 28）年度 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ 事業計画

難病とたたかう子どもと家族に対し、継続的に安全で質の高いキャンプが提供できるよう、「SeriousFun Children's Network（以下 SF という）」の要求水準に準拠したキャンプの実施、運営体制の確立、施設・設備の充実を行う。特に当年度は、SF 正会員登録へ向けた最終書類審査があるため、SF 要求水準にあわせた必要書類作成等を行う。

SF :SeriousFun Children's Network の略
故・ポールニューマンが創設した国際キャンプ団体
そらぷちは、現在準会員として認可されている

また、安定的な財政基盤をつくるため、寄付の枠組みを開発し、支援者数の増加を図るとともに、新たな継続寄付団体を獲得する。

組織運営にあたっては、持続可能な運営体制を構築するため、事業・業務の整理及び人材配置、労務管理の適正化を図る。

（１）キャンプ事業の実施

年間を通じて(夏季、冬季)計 10 回の以下キャンプ事業を実施する。(前年度は計 9 回実施)

※実施日程は事業スケジュール、キャンプの種類はアニュアルレポート参照

①キッズキャンプ（病児のみ参加） 2 回

- ・小児がんとたたかう子ども 20 名程度 3 泊 4 日 夏季
- ・小児がん経験者（スマートンストーンキャンプ）総勢 40 名程度 3 泊 4 日 夏季

②ファミリーキャンプ（家族単位での参加） 2 回

- ・小児がんとたたかう子どもと家族 8 家族 30 名程度 3 泊 4 日 冬季
- ・小児外科系疾患を持つ子どもと家族 8 家族 30 名程度 3 泊 4 日 冬季

③レスパイトキャンプ（個別家族参加、主治医同行） 3 回

- ・難病や重い障害を持つ子どもと家族 2 家族 10 名程度 3 泊 4 日 6 月、8 月、9 月

④グループ（団体参加）キャンプ 3 回

- ・滝川市こども発達支援センター
30 家族 120 名 日帰り×2 日 夏季
- ・難病のこども支援全国ネットワーク
8 家族 30 名程度 1 泊 2 日 夏季
- ・滝川市こども発達支援センター
15 家族 60 名 日帰り（1 日） 冬季



「昨年のキッズキャンプの様子」

（２）医療支援体制等の充実

医療棟（ほけんしつ）を拠点としキャンプ中の医療支援を行うとともに、キャンプ前の家族説明会、家庭訪問等きめ細かなキャンパーフォローを実施する。

- ・ キャンプ回数の増加等に対応するため、医療機関との連携強化に加え、
継続的に医療専門ボランティアの募集・育成を行う。
- また、キャンプ中の食事を安全に継続的に提供できるよう厨房運営体制の充実を図る。
- ・ 継続的に食事専門ボランティアの募集・育成を行うとともに、
大学等と連携し、積極的に研修生の受入れを行う。

（３）キャンププログラムの充実

キャンプ参加者への安全かつ楽しいキャンププログラムの提供を行うとともに、乗馬等のプログラムの充実に必要な施設整備及び人材の充実を図る。

- ・ キャンプの中核プログラムとなっている乗馬等の充実のため「北海道障がい者乗馬センター」と共同でプログラム開発を行うとともに、キャンプ場内の馬繋留施設整備を行う。
- ・ 年間を通じて、SF 基準に準拠したボランティア募集・育成システムを実行する。
(ボランティア研修キャンプ（５月、１１月、３月）の実施他)
- ・ 継続フォローの一環で、過去参加者を対象に研修生の受け入れを行う。（１８歳以上）
- ・ ジップライン等ツリーハウス周辺のプログラム関連施設・設備の充実を図る。

（４）キャンプ施設の維持管理及び整備

安全、快適なキャンプの提供のための施設維持管理を推進するとともに、施設及び設備の効率的な管理等を徹底し管理コストの軽減を進める。また必要な施設等の整備を行う。

- ・ 浄化槽等の設備維持、草刈り、除雪等の屋外管理、施設清掃等については
外部委託の拡大により人件費等のコスト軽減を図る。
- ・ 施設エリアから森エリアへのアプローチ道等を整備する。
- ・ 中長期的な施設及び設備の修繕計画を策定し、計画的に修繕費の積立を開始する。

（５）広報 PR 及びファンドレイジング（資金調達）

新たな広報 PR・ファンドレイジング戦略を策定するとともに、役員を含む法人全体が一体となった広報 PR・ファンドレイジング活動を推進する。また、安定的な財政基盤をつくるため、寄付の枠組みを開発し、支援者数の増加を図るとともに、新たな継続寄付団体を獲得する。

- ・ アニュアルレポート（日本語、英語）やリーフレット（振込み用紙付）の内容の充実を図るとともに、会員・支援者・協力者等への配布及び新たな支援者の開拓ツールとして活用する。
- ・ インターネット上での PR のためホームページ等の積極的更新、情報発信を行う。
(クレジット決済システムについても継続する)
- ・ キャンパーの個人情報保護に配慮しつつ、テレビ、新聞等マスメディアへの積極的な

露出をはかる。

- ・ 支援団体等主催のイベントへ積極的に参加しPRする。

2016年5月 コールマンジャパン 2017年2月 東京マラソン財団

2017年3月 日本チェーンドラッグストア協会 他

- ・ 店頭募金箱の設置拡大のための依頼活動を実施する。

(日本チェーンドラッグストア協会、個別店舗他)

- ・ 支援企業に依頼し寄附付商品など増やす。(応援チャリティキャンペーンの推進)

(自動販売機、北海道物産通販、灯油、名刺、農産品、オムツ、箱ティッシュ、食パン他)

(6) 調査研究事業等の実施

ネットワーク拡大を目的とし、関連学会(医療系・野外活動系)等へ参加するとともに、職員研修として、各種講習会参加、他施設見学等を行う。

キャンプ後アンケートや保護者及び主治医へのヒアリングを通じ、キャンプ体験の効果について継続的に記録・分析を行う。

(7) その他の事業等

- ・ 滝川市をはじめ、人形製作ボランティア、維持管理ボランティア、広報PRボランティア等地域支援団体との連携を強化する。
- ・ 市民や支援者との交流を目的に、「キャンプ場公開イベント」を10月に開催する。
- ・ 難病小児支援関連団体との交流を深め、可能な範囲で積極的に見学等の受入れを行う。

(8) SFとの連携の強化

シリアスファンとの連携強化のため、会員に求められるキャンプ運営上の様々な基準に対応するとともに、各種の情報交換をウェブ会議や現地打合せ、研修会参加、スタッフ相互交流などを行う。また正会員への登録のため、関連資料翻訳作業等を行い、登録に必要な書類を作成し提出する。



「馬プログラム(冬家族キャンプ)」



「専用施設群外観(冬季)」